

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	オペレーティングシステム論		
英文授業科目名	Operating Systems		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	竹内 郁雄		
居室	西9-404		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nue@nue.org	

【主題および達成目標】
(a) 主題: オペレーティングシステムの基礎的な概念と関連するプログラミング技術について学ぶ。個々の具体的なOSの使い方やその詳細構造については言及しない。 (b) マルチタスキングが可能なOSの一般的な考え方やその内部構造を支えるプログラミング技術の基本が理解できればよい。

【前もって履修しておくべき科目】
必修科目はすべて

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書は特に指定しないが、以下は分厚いがきちんと書かれたよい本である。 前川守: オペレーティングシステム, 岩波書店ソフトウェア科学シリーズ, 1988。 ただし, 授業は Gary Nutt: Operating Systems -- A Modern Perspective, Addison Wesley, 1997. の概念整理の方法に従って進める。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

以下のような予定で授業を進める

- 第1?4回: オペレーティングシステムの概念, 種類, 基本機能と構造, コンピュータの構造, 割り込み
- 第5?6回: デバイス管理, ガントチャート, バッファの概念
- 第7回: プロセスの概念
- 第8回: スケジューリング
- 第9?12回: 同期と相互排除, セマフォ, 並行プログラミング
- 第12?14回: 記憶管理
- 第15回: 期末試験

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験．試験には自筆ノートと講義で配布したプリントのみを持ち込み可とする．試験は論述式を中心とする．文章力を鍛えておくこと．基本概念を理解していて，得点60%以上を取れば可とする．配点は問題に明記する．

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない．授業時間の直後の質問や，メールでの質問は受け付ける．

【学生へのメッセージ】

授業では教科書に出ていないようなエピソードや哲学を中心に据えて話す．個々の技術的な詳細は，講義のエピソードにだまされず，授業中に伝えたキーワードをもとに自分でよく勉強すること．成績評価方法でも触れたが，文章力とか，言葉にこだわる才能を伸ばしてほしい．

【その他】